

中学校 3 年

ICT コンテンツを活用して問題を作成・解答しよう

和泉市立郷荘中学校

教科

社会

単元名

世界恐慌から終戦

本時のねらい

- ・ICT コンテンツを使用して問題を作成し、解答する過程を通じて既習の学習内容の理解を深めるとともに情報活用能力を育む。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・各班で指定されたコンテンツ（Google スライド、ロイロノートのテストカード、Kahoot!）を使用して、問題を作成する。
- ・問題作成をするにあたり、デジタルツールの特性を理解した上で適切な情報を収集する。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノートのテストカード ・Google スライド ・Google クラスルーム ・Kahoot! ・Google スプレッドシート

本時で育む主な情報活用能力

**B-STEP4, D-STEP4
J-STEP4, L-STEP4**

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあて【問題を作成し、内容の理解を深めよう】を確認する。 ・班ごとに使用する ICT コンテンツ（Google スライド、ロイロノートのテストカード、Kahoot!）について説明を聞く。 ・班によって使用するコンテンツが違うため、自分がどのような作業をしていくのかを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型モニターを使い、自分が何のコンテンツを使って問題を作成するのかを理解させる。 ・事前に Google クラスルームに授業のながれを記入した Google フォームや Google スライドを送っておいて、スムーズに始めることができるようにする。
展開 (40 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・各生徒が自分の 1 人 1 台端末を使用して、指定されたコンテンツ（Google スライド、ロイロノートのテストカード、Kahoot!）を使い、既習事項に基づく問題を 1 問作成。 ・班ごとに、班内のメンバーが作成した問題を解答する。【写真 1】 ・班内で意見交換を行い、各問題の良い点や改善点を話し合う。 ・班ごとに意見を集約し、問題を 1 つ選んでブラッシュアップする。【写真 2】 ・各班がブラッシュアップした問題を全体で解答する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各生徒や班のメンバーがリアルタイムで共同編集できるように設定することで、班内の協力が円滑に進む。 ・選んだ問題に追加の情報や視覚的要素を加え、より高品質な問題に仕上げる。
まとめ (5 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で共有している Google スプレッドシートで、自分が作成してみて思ったことや気づいたこと、他の班が違うツールで作った問題を解いてみて思ったことや気づいたことを書きこんでいく。他の人がどのように感じたのかを共有しながら書いていく。【写真 3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員共有の Google スプレッドシートなので他の人がどのように書いたかをみながら書くことができるため、学習が苦手な生徒も書きやすい状況を作ることができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】班で作成した問題



【写真 2】班で問題を 1 つ選んでブラッシュアップの様子



【写真 3】振り返りで行った共有スプレッドシート

児童生徒の反応や変容

- ・さまざまなコンテンツで作られた問題に触れることで、その特徴をとらえながら問題を作成することができていた。
- ・タイムリミットを設定した問題解答や問題作成の過程で、時間を意識しながら効率的に作業を進める力が身につく、生徒たちは、限られた時間内で最大限の成果を上げるための工夫をしていた。
- ・他の班の問題を解くことで、自分の理解度や知識の不足を客観的に評価する力が身についた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・問題を作成する際に、デジタルツールの特徴を理解し、その目的に基づいた情報収集をすることで、情報活用能力を高めることができた。
- ・多様な視点から作成された問題を解くことで、より深い知識の定着を図ることができた。